

TSIホールディングス自社ECモール「ミックスドットトウキョウ」の次の一手

# 韓国のブランドとECプラットフォーム導入へ

TSIホールディングス(TSIHD)は、自社ECモール「ミックスドットトウキョウ」で韓国のアパレルブランド「ロラロラ」のテスト販売を始め、韓国発ECプラットフォームサービスのカフェ24との提携に基本合意した。

カフェ24は、韓国の約6割のファッションECサイトが利用するという構築システムだ。TSIHDは来春の契約締結を目指し、今後カフェ24のプラットフォームを用いながら、同サービスでECを運営する韓国ブランドを「ミックスドットトウキョウ」で取り扱うことを検討している。渡辺啓之TSI ECストラテジー取締役は「お客さまとの親和性を考えながら、どのようなブランドをラインアップするかは今後話し合っていく。サイト全体の見せ方を含めて、日本のお客さまに向けて韓国ブランドを紹介するのに一番いい方法を取り入れたい」と話す。

「ミックスドットトウキョウ」は今年から、自社以外の海外ブランドの取り扱いを始めている。「ここ2〜3年、『ミックスドットトウキョウ』ではお客さまをブランドの個別ECサイトへ誘導することを目的にしてきたが、その次のステップは、自社ブランドでは獲得できていなかった新しいお客さまを集客すること。他のECモールと差別化するため、日本未上陸の新しい価値が提供できる

ブランドの導入を模索してきた」と渡辺取締役。その第1弾として3月、ニューヨークのバッグブランド「ステイト」の取り扱いを開始した結果、購入者の9割が新規客で、20代も取り込むことに成功した(同ECの顧客層は30〜40代)。

そして第2弾に導入するのが「ロラロラ」だ。古橋一憲TSIECストラテジー デジタル事業開発部長は第2弾のブランドをリサーチする際に、「日本人がファッションを参考にする国」についてのアンケートで、20代前半の女性は55%が韓国という結果があり、昨年末から韓国ブランドを探し始めた」という。「ロラロラ」は韓国の人気アパレルブランド「ナイン」を運営するBYYJが2017年5月に開始したブランドで、ECの他、「ソウルの原宿や下北沢」といわれ、若者が集まる弘大(ホンデ)地区に路面店を構える。一面ピンクのフォトジェニックな空間で、観光客の集まるインスタグラムスポットになっている他、少女時代やTWICEなどの人気アイドルが私服や衣装として着用していることで知名度を上げている。



1.ソウル・弘大の「ロラロラ」の路面店 2&3.「デイリーウエア」「フィットネスウエア」「スイムウエア」の3ラインを展開し、日本では「デイリーウエア」と「フィットネスウエア」を扱っている

## 「イケア」が原宿に出店

2020年春オープン

スウェーデン発のインテリア専門店「イケア」は2020年春、東京・原宿に出店する。場所はNTT都市開発が開発中の複合ビル「原宿駅前プロジェクト」の1階と2階で、店舗面積は約2500㎡。「イケア」の郊外の既存店は2万㎡以上あり、それらに比べればコンパクトになる。住所は東京都渋谷区神宮前1-14-14で、JR原宿駅前に位置する。

ヘレン・フォン・ライスはイケア・ジャパン社長は「東京都心部への出店を通し、より多くの日本のお客さまに『イケア』を体験していただけることをうれしく思う。日々の暮らしの悩みやニーズにお応えできる商品や解決策を、インスピレーションあふれる環境で提供していく。皆さまの大好きな食事も提供する」とコメントした。

「イケア」は、東京・立川、千葉・船橋、愛知・長久手、大阪・鶴浜など、国内に9店舗を構えているが、郊外エリアや地方への出店にどこまっっており、都心部への出店は初めて。



出店先の複合ビル「原宿駅前プロジェクト」のイメージ

このサイズは一律20円。そこから生産コストを除いた余剰金を、NGO団体のWWFジャパンに寄付する。